



市民フェスタ高槻まつり 3年ぶり開催 笑顔あふれる2日間

8/6・7、市民フェスタ高槻まつりが、約3年ぶりに開催されました。桃園小学校ステージでは多彩な演奏やダンスパフォーマンスが、けやき大通りでは高槻音頭や高槻ウェーブなどが披露されました。訪れた人は、マスクなどで感染対策をしながら、夏の風物詩を楽しみました。



あくあぴあ芥川 ひっかき絵で昆虫を描く

あくあぴあ芥川で8/5、昆虫をテーマにした工作教室が開催されました。昆虫や自然界の色の話を聞いたあと、標本を観察しながら黒く塗ったガラス板をひっかいてガラス絵を完成。参加者は「大変だったけど面白かった」と目を輝かせました。



市民会館クロージングイベント 58年の歴史のフィナーレ飾る

7/31、高槻現代劇場市民会館は閉館の日を迎え、クロージングイベントが開催され、58年の歴史に幕を下ろしました。大ホールでは、満席となる約1,000人の観客を前に、「ピアノカの魔術師」の公演のほか、濱田市長の指揮のもと、市少年少女合唱団による高槻市歌などが披露され、大いに盛り上がりました。来年3月には新劇場・高槻城公園芸術文化劇場が誕生します。

輝く未来を創るため 改革の取り組みと成果を検証

市が『「みらいのための経営革新」に向けた改革方針』を策定してから5年が経過します。みらい創生審議会では、この間の改革に関する取り組みと成果が検証され、8/16、金田忠行会長と土屋隆一郎副会長から濱田市長に、結果が報告されました。